

ITストラテジスト 解答例

【午後 I】

問 1 (配点 50 点)

設問 1 (16 点:(1)8 点, (2)8 点)

- (1) AI の学習で表示される回答候補の精度が向上するから
- (2) 適切な回答候補がなかった場合にオペレータが実際に回答した内容

設問 2 (16 点:(1)8 点, (2)8 点)

- (1) セルフサービス機能で即時に回答を得たいニーズ
- (2) チャットボットで解決ができず、コールバックで回答した内容

設問 3 (18 点:(1)6 点, (2)作業内容 6 点, 効果 6 点)

- (1) 時間帯ごとのチャットボットとオペレータの問合せ件数の比率
- (2) (作業内容) メールによる問合せへの回答
(効果) オペレータの時間外勤務の減少

問 2 (配点 50 点)

設問 1 (6 点)

その商談の受注確度

設問 2 (24 点:(1)8 点, (2)8 点, (3)8 点)

- (1) 作業時間の予定と実績の差異を比較し、数量の未達を把握する。
- (2) 在庫の出庫の順序管理をし、先入れ先出しを実現する。
- (3) 1日に製造予定の製品の個数と部品リストから部品別の合計数量を集計する機能

設問 3 (20 点:(1)6 点, (2)6 点, (3)8 点)

- (1) 作業開始時の温度と湿度の情報
- (2) 翌月の製品別生産計画
- (3) 製造部門の要員の時間外作業の削減

問 3 (配点 50 点)

設問 1 (21 点:(1)C 社 7 点, 社外のデザイナー 7 点, (2)7 点)

- (1) (C 社) 改めて制作する必要がなく、事務手続の社内工数を削減できる。
(社外のデザイナー) 著作権を保有しているので、再利用の度に利用料を得られる。
- (2) a: 案件ごとの部品流用率の増加率

設問 2 (15 点:(1)7 点, (2)8 点)

- (1) 案件ごとにコンテンツへのアクセス履歴を保管する。
- (2) 同じ案件と判断できる引合いには同一の見積額を提示するため

設問 3 (14 点:(1)7 点, (2)7 点)

- (1) 動画と音声の編集と Web コンテンツの編集機能
- (2) 事業拡大に対して同一方針の案件管理を行う。

問 4 (配点 50 点)

設問 1 (14 点:(1)7 点, (2)7 点)

- (1) 国内の新規ビルの建設数が減少しているため
- (2) 新興国の都市部に高層ビルの建設予定が多いから

設問 2 (15 点:(1)8 点, (2)7 点)

- (1) 曜日, 休日, 時間, 天気, 周辺イベントなどから利用者の変動を予測する。
- (2) 他社との差別化を図った新機能を新製品に持たせる戦略

設問 3 (21 点:(1)目的 7 点, 施策 7 点, (2)7 点)

- (1) (目的) 今後 10 年間の集中した需要に対応して, 新設のシェアを高めるため
(施策) AI 技術を活用した新機能を後からソフトウェア更新で追加する。
- (2) 利用者が集中する時間帯に平均待ち時間を短縮する動作

以上